

公明党 横浜市会ニュース 第73号

VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com

民衆の声
ボイス

インターネットが
郵送で6月19日から
事前購入予約の受け
付けを始め、8月21

公明党のネットワーク力で実現 横浜市 プレミアム商品券発行へ!!

横浜市は、国の交付金を活用してプレミアム商品券の発行を行います。これは公明党の国と地方のネットワークの力で実現したものであり、横浜市における経済活性化が期待されます。

1冊1万円で2千円分のプレミアムが上乗せされた商品券が8月から販売されます。額面総額約100億円(販売額約84億円)の発行を予定しており、割り増しなど関連経費約23億円はすべて国の交付金を活用します。

すでに横浜市と横浜商工会議所、市商店街総連合会で実行委員会を発足。同連合会加盟の正会員店舗(約1万1千店)のほか、参加を希望する店(市内であれば規模などの条件なし)で使えるようになります。

プレミアム半分に当たる千円分は同連合会加盟の正店舗だけ利用が可能で、商店街の活性化を図るとしています。



- 6月19日～7月21日 / 購入予約受付
- 8月21日～9月3日 / 引き換え販売
- 8月21日～12月31日 / 商品券利用



組んでいる箱根町を支援するため、横浜市内に於いて開催される物産展や商店街の消費喚起イベントなどの連携による箱根産品のPRや各種パンフレットの配布等、箱根町への支援策についての検討を要望しました。

箱根町 支援策を要望

公明党市議員団は6月22日、「箱根町の支援を求める要望書」を林文子市長宛に提出しました。

大涌谷周辺での火山活動に伴い規制が続く箱根町は、観光客の減少による宿泊施設や土産物店等への影響が広がっています。市議員団は箱根町役場を訪れ、火山活動等の調査活動を行うとともに、町長や議長から話を伺いました。

町民や観光客の安全対策を第一に、正しい情報発信に全力で取り組んでいる箱根町を支援するため、横浜市内に於いて開催される物産展や商店街の消費喚起イベントなどの連携による箱根産品のPRや各種パンフレットの配布等、箱根町への支援策についての検討を要望しました。

市報 小さな声を聴く力、声をカタチに!



かのを 重雄
瀬谷区三ツ境 125-25 ☎365-2054 ☎365-1690
かのを重雄 検察

■地域の身近な施設が 災害時の避難所に

災害時の避難所として、地域防災拠点から離れた地域や、避難所生活が困難な高齢者や障がい者のために、地域の実情に合わせて身近にある自治会・町内会館や、公園内の集会所なども区の防災計画に位置付け、有効活用すべきと提案してきました。

現在、栄区の「地域避難所」、保土ヶ谷区の「助け合い避難所」などをはじめ、各区で地域の実情に合わせて自治会・町内会館、公園内の集会所、ログハウスなどを地域防災拠点に準ずる災害時の避難所として区が指定し、新たなルールのもとで活用されています。



地域避難所を視察(栄区)

これにより、使い慣れた施設での避難所生活が可能となり、特に避難所生活が困難な高齢者や障がい者の顔がよく見えるようになります。

■都市農業の推進と ウッド栽培の継続

地元議員として、都市農業振興策や上瀬谷通信施設内での生産されているウッド栽培の継続を訴えてきました。

6月5日、JA横浜瀬谷支店においてウッド生産者への説明会が開かれ、2年間、引き続き栽培が継続できるとの説明がありました。

今後は、新たなウッド栽培施設の設置やそれに伴う費用負担、原状回復に係る費用負担への補助制度など様々な課題について、検討していくこととなります。

また、6月8日に同支店で開催された国有地耕作者協議会への説明会でも、1年間、耕作が継続できるとの説明がありました。



(ウッド栽培)

■大門小学校の教育環境の充実

横浜市立大門小学校の保護者よ

り、「教育環境の更なる整備を進めて欲しい」、「劣化の著しいプール施設の改修を図って欲しい」との要望を頂きました。

早速、学校、教育委員会など関係局とも協議・調査を重ねた結果、プールの劣化に伴う保全や、校内のトイレ・水飲み場の改修などについて、今後予算化を含め検討していくことになりました。

■危険な道路の歩道整備を推進

市営上瀬谷住宅前から若宮八幡神社前まで、東名高速道路と並行している全長約130mの道路の歩道整備が順調に進められています。

これは、市営上瀬谷住宅にお住いの方たちから、「交通量も多く危険なので歩道の整備を」との要望で実現するものです。



歩道整備が進む



プールの劣化調査(大門小)

市民相談 お気軽に何でもご相談下さい

横浜市議員(瀬谷区選出) 電話: 045-365-2054 FAX: 045-365-1690
住所: 瀬谷区三ツ境 125-25 E-mail: info@s-kano.jp
【発行/横浜市会公明党 政務調査会瀬谷事務所】

かのを重雄

団視察 女性の就労支援策の強化



〈サポートセンターホームページ〉
<http://wsy.city.yokohama.lg.jp/>

6月4日、神奈川県にある「横浜就職サポートセンター」を視察しました。同センターは、就労支援施設等の案内を行うと共に、個別相談や女性・若者を対象としたインターンシップを柱とする就労支援などを一体的に実施します。

また、合同就職面接会などによる求職者と企業の採用担当者との面談の場を提供しています。今回は平成27年度予算に盛り込まれた「キャリアアップバンクのある女性への就労支援策」を視察。専任女性相談員の配置やインターンシップの定員を増やすなど拡充が図られています。女性の就労を支える公明党として、益々力を入れて参ります。

「横浜市臨時福祉給付金」コールセンターを設置!



0120-391-370
平成27年6月1日～28年3月31日まで
前日 9:00～18:00

横浜市は消費税引き上げに際し、所得の低い方々への負担軽減を図るため、昨年度に続き暫定的・臨時的な措置として「臨時福祉給付金」(対象者数約51万5千人)の給付を実施します。

対象は平成27年度市民税が課税されない方、生活保護を受けていない方です。

給付額は1人につき6000円となります。多くの市民の皆様からの給付金に関する疑問にお答えするため、コールセンターを開設しています。

皆さまの、いちばん近くで動く、働く。横浜市会公明党です。

新しい構成により議会がスタート

和泉 卓生 (旭区) ● 政策・総務・財政委員会 ● 減災対策推進特別委員会	尾崎 太 (鶴見区) ● 政策調査会事務局長 ● 市民・文化観光・消防委員会 ● 健康づくり・スポーツ推進特別委員会	望月 康弘 (港北区) ● こども青少年・教育委員会 ● 大都市行政制度特別委員会	斎藤 真一 (都筑区) ● 政策・総務・財政委員会 ● 副委員長 ● 基地対策特別委員会	斎藤 伸一 (保土ヶ谷区) ● 副委員長 ● 建築・都市整備・道路委員会 ● 孤立を防ぐ地域づくり特別委員会	源波 正保 (泉区) ● 副委員長 ● 大都市行政制度特別委員会 ● 副委員長	高橋 正治 (緑区) ● 副委員長 ● 健康福祉・医療委員会 ● 観光・創造都市・国際戦略特別委員会	加藤 広人 (磯子区) ● 副委員長 ● 市民・文化観光・消防委員会 ● 観光・創造都市・国際戦略特別委員会
竹野内 猛 (金沢区) ● 減災対策推進特別委員会 ● 建築・都市整備・道路委員会	安西 英俊 (港南区) ● 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会 ● 観光・創造都市・国際戦略特別委員会 ● 副委員長	中島 光徳 (戸塚区) ● 健康福祉・医療委員会 ● 副委員長 ● 孤立を防ぐ地域づくり特別委員会	行田 朝仁 (青葉区) ● 副委員長 ● 国際・経済・港湾委員会 ● 大都市行政制度特別委員会	竹内 康洋 (神奈川区) ● こども青少年・教育委員会 ● 健康づくり・スポーツ推進特別委員会	福島 直子 (中区) ● 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会委員長 ● 健康づくり・スポーツ推進特別委員会	仁田 昌寿 (南区) ● 水道・交通委員会 ● 基地対策特別委員会	加納 重雄 (瀬谷区) ● 副委員長 ● 国際・経済・港湾委員会 ● 基地対策特別委員会

自治体外交推進で世界に貢献



自治体外交とは、独自に国境を越えて結び付き、人的・社会的交流を通じて地球規模の情報交流・開発を行なうことと、横浜市は長年にわたり日本の自治体外交のトップランナーとして世界の諸都市と連携してきました。

公明党市議団もその一環として、各国からの来賓による議場演説を提案してきました。本年6月1日にはインド・ムンバイ市、フィリピン・マニラ市などの4都市の市長や代表を迎え、議場演説や姉妹都市提携50周年記念フォーラムが行われました。

公明党市議団はこれからも世界平和に寄与するための自治体外交に一層力を入れてまいります。

平成28年度予算編成に向け各種団体との政策懇談会を開催



公明党市議団は毎年恒例となっている政策懇談会を開催しました。

各種団体からの要望を受けるとともに、施策の現状と課題について意見交換を行いました。横浜の急速に進行する高齢社会に向けた取り組み、女性の活躍、子育て環境の充実、経済の活性化、など多くの要望をいただきました。

今後、これらのご意見、要望事項を検証し、来年度以降の政策課題に取り組みてまいります。

よこはま動物園「アフリカのサバンナ」がオープン



4月22日、「よこはま動物園ズーラシア」に新エリア「アフリカのサバンナ」がオープンしました。

この日はオープンに先立ち、アフリカ各国の来賓をはじめプレスを含めた関係者へのお披露目がありました。

新エリアの最大の特徴は、広大な展示場内に草原や岩場を再現しつつ、日本で初めて、ライオンやチーターなどの肉食動物やキリンやグランドシマウマ、エランドなどの草食動物と一緒に展示し、様々な動物が行き交う珍しい光景を見ることができるところです。

広大な草原や湿地など東アフリカのサバンナの景観を再現した、約46畧のエリアで、気候帯別に動物を展示。ズーラシアの8つ目のエリアとなり、「アフリカのサバンナ」の全面開園となります。